

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『税金で救われる命』

町田市立山崎中学校 3学年 川合 さくら

これは私が小学四年生だった時の話です。私には小さいころからの女の子の友達がいきました。私は昔から人と話すのが苦手だったのですが、その友達とはとても仲良しでした。

ある日、その友達から引越しをする事になったと告げられました。本当に急だったので、とても驚きました。場所は新潟県の魚沼市と言う所、私は思うより遠い場所だったことを知って泣いてしまいました。

それから離れてもなるべく連絡をとって、その出来事から約半年がたとうとしている時でした。私がいつもの様にベットに横になっている時、テレビから大きな音がなりました。それは地震速報についてのお音で、石川県で震度七の地震があったという事でした。大きい地震が最近あまりこぞ、私はすっかり油断していました。友達は石川県と、近い新潟県に住んでいる事に気づき、急いで電話をしましたが繋がらず、その日から不安な日々が私の中で続きました。それからまた一ヶ月経ったある日、友達から連絡がきている事に気がつきました。私はその場で肩の力がぬけていく事が分かりました。

ですが友達からきた文を読んでいくと、とても現在の状態が厳しく苦しいことが分かりました。その友達の状況を知ると私の不安が大きくなり、大切な友達がこれからどう生活していくのか、さらには生活をしていけるのか、詳しい状況がなにも分からない私からしたら不安でしかありませんでした。私はこんな時に、災害にあった人々をどう国は助けるか調べてみる事にしました。

調べていくと、私達が日々払っている税金が災害復興に役立つという事を知りました。

過去にも起こった日本での大きな地震の一つ、東日本大震災でも被害にあった人がたくさんいる中、どの様に生活をしているのか考えたことは地震のニュースが流れるたびに思っていました。このような日本全体で解決するべき事に対して税金というものが使われているのだと知り、とても驚きました。

私は親がよく

「税金が高くなっていて困るわー!」

などと言っている事があったので、なぜ国は税金というものをとるのかとなどに思っていました。税金をなぜ払うのかを調べるにつれて納得していきました。知らない時はあまりよくないものと思っていた私ですが、このように被害にあっている人に使われている事や、他にもたくさん困っている人がいる中で税金は使われている事が分かり、税金というものはとても必要なものだという事が知れました。

